

令和3年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
東北ブロック受賞事例の概要

【東北農政局長賞】

農家を育て農家を守る 地域を育て環境を守る

○団体名 農事組合法人室岡営農組合（代表 村松 潔）

○所在地 岩手県矢巾町

○むらづくりの背景・経緯

矢巾町室岡地区は、県都盛岡市に隣接する都市近郊農村である。平成13年から室岡地区には転作を担う営農組合でスタートしたが、後継者不足など農業を取り巻く環境の変化に対応するため、平成17年に法人化を行った。

平成19年は、「農地・水・環境保全向上対策」に参加するため、当組合が中心となり、非農家を含めた地域住民全員が参画する「室岡地域農地水向上活動協議会」を設立し、組合が事務局となり、住民同士の連帯意識の醸成を図りながら、農地を含む農村環境の維持・向上、地域行事や祭事等の活動を積極的に行ってきた。

○むらづくりの内容

（１）農業生産面

農研機構（盛岡市）で開発された栽培技術を率先して導入し、小麦、大豆の二毛作を行い、安定多収生産を実現している。平成27年からは、大豆の加工（豆腐、味噌等）に取り組み、地元スーパーでの販売している。当組合のお米は学校給食にも採用された。平成18年から、水稻の育苗ハウスを利用して女性や高齢者にも負担の少ない、ミニトマトの栽培を始め、大豆の加工と併せ、年間を通じた雇用の場を創出している。

「ところてん方式」と言われる、ユニークな担い手確保手法により、定年退職が近い地域の兼業農家等を常にマーク、当組合への参加・声かけをして、即戦力を確保している。当組合の各生産部会（水稻部会、転作大豆部会、転作麦部会等）には、専任者を配属し、オペレーターの優遇や、支部制による作業の分担化（体制強化）している。

（２）生活・環境整備面

全世帯参加による、農道・町道周辺の草刈や水路へのU字溝敷設、花壇の整備など農村環境の維持・向上の取組により、地域活動や組合事業への理解が醸成されており、地域社会の活性化と将来の担い手育成につながっている。

地区には非農家の子供も多く、農業体験がない子供たちに対する田植えから稲刈り、餅つき、豆腐・味噌づくりなどの体験活動により、農業や食への感謝の気持ち、生命や自然に対する教育も行い、交流等を推進している。



二毛作（小麦・大豆）のほ場
とスタッフ